会派の主張（本会議の質問など）

三面から六面の内容は各会派が責任をもって掲載しています。

大阪維新の会

代表質問　森田　典博　個人質問　森脇　啓司
個人質問　中原　健氏

ラグビーワールドカップ開催に向け十分な準備を。花園中央公園のさらなる活用を！

―中学校給食について―

問　先の第二回定例会で市長、教育長はこれまでの平成二十九年度から順次実施していくという方針を突然方向転換し、成長期にある中学生の健全な心身の育成や食育の観点から小学校と同様の完全給食、全員喫食で進めるため、その検討に二年間先延ばしするとされた。わが会派の同僚議員からの質問で、少なくとも現在の給食提供能力からしても一ないし二中学校への提供が可能であることを明らかにしている。つまり、二十九年度から一ないし二中学校へは全員喫食の給食が可能であり、市長がこれまで市民に約束されてきたことを守ることができる。そこで二十九年度実施に向けた決断を伺う。

理事　最小限の経費で最大限の効果が得られるよう、具体の方策を現在の給食調理施設における調理能力なども含め、いま一度考えたいと思っており、遅くとも平成三十一年度小中一貫教育の実施に合わせて順次、全員喫食の給食が提供できるよう検討してまいる。

―まいど・おおきに東大阪マラソン開催について―

問　本市は中小企業の町・モノづくりの町・ラグビーの町というイメージがあると思われるが、それが観光需要の喚起に繋がっていない。まさしくそのイメージを強みに変え、経済的効果につなげていくことも喫緊の課題である。そこで提案するのが「まいど・おおきに東大阪マラソン」の開催である。今やマラソン人口は健康増進の観点からも右肩上がりの状況である。二〇一一年当時の橋下徹府知事が市民ランナーの皆さんに気軽に参加できる大会を開きたいとして東京マラソンをモデルとした市民参加型の大規模なマラソン大会がスタートした。さすがに公道となるとボランティアさんや警察、大阪府や消防、場合によっては国との交渉が必要になろうかと思う。だからこそ今ある資源を最大限に活かせるのならば、花園中央公園にほかならない。広大な敷地で陸上競技場もあり、緑もあり、生駒山系も臨めるマラソンに適した最高の場所であると思う。まさしく住んでよし・訪れてよしである。このことを踏まえ、花園中央公園で東大阪マラソンを開催することについての当局の見解を伺う。

社会教育部長　花園中央公園での東大阪マラソンは公園内であっても開催にあたっては、警備員の配置など安全面をはじめ十分な配慮が必要となることから、今後、関係部局と協議しながら検討してまいる。

―ラグビーワールドカップの進捗状況について―

問　ラグビーワールドカップ2019が聖地花園で開催されるがラグビー場の整備費用として、七十二億六千万円の工事費が補正予算案に計上されている。この夏、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催されたが、テレビ等でも報道されていたとおり、開催直前まで会場設営工事が行われているような状況で、会場整備を中心とした財政面でのずさんさのために開催が危ぶまれるというような事態があった。本市花園でも行われるラグビーワールドカップ日本大会は二〇一九年九月であり、ちょうどあと三年である。開催会場の整備の遅れや、運営面での懸案事項等、本市も、新聞報道にあったように、財政面で大きな不安を抱えた状態である。開催費用は施設改修などのハード面、その他の運営費用のソフト面ともに市の財政支出だけでは到底賄えるものではない。七十二億六千万円という改修費用の確保について、どのように国費を中心とした各方面からの支援が得られるのか否か、大きく危惧しているところである。この点について、現在どのような状況であるのかを伺う。

市長　本年五月に日本スポーツ振興センターが、ラグビーワールドカップ開催会場を含む、助成金の新要綱を制定し、七月二十八日にはその交付決定があるなど、新たな支援の動きが形になってきている。

マラソンに適した最高の場所、花園中央公園

日本共産党

代表質問　内海　公仁　個人質問　神野　淳一
個人質問　塩田　清人

旭町庁舎は保存し活用を！子どもの貧困対策は急務！

―旭町庁舎の保存活用について―

問　世界的近代建築の巨匠ル・コルビュジエの強い影響を受けた旭町庁舎は、繰り返し市民や建築の専門家の皆さんが保存活用を要求している。今年七月、ル・コルビュジエが設計に関わった国立西洋美術館が世界遺産として登録されたこと

（次頁へつづく）